専門基礎分野

疾病の成立ちと回復の促進

シラバス

科目名	病態学Ⅰ（病理学）	単位	1	時間数	１５	開講時期	１年次後期	担当者	病理学医師
学習のねらい	解剖生理学等の基礎医学の知識を土台としながら、病気の原因や発症、進展の過程、患者に与える影響などを学習し、病気について本質から理解する。								
目的・目標	目的；それぞれの病気について本質から理解することができる。 目標；１．病気の内因・外因と細胞や組織構造の変化について説明することができる。 ２．病理学の概略と構成について説明することができる。								
授業計画	１回（45 分×2）　病理診断の目的と方法 ２回（45 分×2）　細胞・組織の障害と修復 代謝障害（物質沈着、黄疸、結石） ３回（45 分×2）　循環障害（充血・うっ血・虚血・血栓症・塞栓症・出血・梗塞・ショック・ＤＩＣ・浮腫・浸出液と濾出液） ４回（45 分×2）　炎症と免疫（炎症の種類・原因・治療、免疫のメカニズム） 移植と再生医療 ５回（45 分×2）　老化と死（加齢に伴う細胞・臓器変化、死の３徴候、脳死） ６回（45 分×2）　先天性異常（先天異常の原因と分類、遺伝性疾患、染色体異常による疾患、先天異常・遺伝性疾患の診断） ７回（45 分×2）　腫瘍（腫瘍の定義と分類、腫瘍の種類と発生のメカニズム、診断と治療） ８回（45 分）　テスト								
評価方法	筆記試験（100%）								
教科書	系統看護学講座　専門基礎分野　病理学　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　アレルギー　膠原病　感染症								
参考文献	系統看護学講座　別巻⑥　臨床検査　医学書院								
履修要件									

シラバス

科目名	病態学Ⅱ	単位	1	時間数	３０	開講時期	１年次後期	担当者	血液内科医師 循環器内科医師 呼吸器内科医師
ねらい 学習の	造血機能・循環機能・呼吸機能の正常な構造と機能を理解し、その機能障害をもたらす疾患の病態、症状、検査、治療、機能障害の基礎知識を修得する。今後、履修する造血機能・循環機能・呼吸機能に障害を持つ患者の看護を学ぶ上での基礎的知識を学ぶ。								
目的・目標	目的；各機能の特有な疾患について理解することができる。 目標；1. 造血にかかわる諸機能の障害で特有な疾患の原因とその変化について説明することができる。 2. 循環機能の障害で特有な疾患の原因とその変化について説明することができる。 3. 呼吸機能障害で特有な疾患の原因とその変化について説明することができる。								
授業計画	1 造血にかかわる諸機能の障害 （講義４回；45 分×8） 1） 血液・造血器疾患の概要 (1) 血液・造血器疾患の分類 (2) 罹患率 (3) 血液・造血器疾患における医療の動向 2） 血液・造血器系障害を持つ対象の特徴 (1) 貧血患者の特徴 (2) 難病患者の特徴 (3) 造血器腫瘍患者の特徴 3） 血液・造血器系障害による症状と病態生理および治療 (1) 赤血球系の疾患 (2) 白血球系の疾患 (3) リンパ網内系疾患 (4) 異常たんぱく血症 (5) 出血性疾患		2 循環機能障害 （講義６回；45 分×12） 1） 循環器系疾患と医療の動向 (1) 生活習慣病と循環器障害 (2) 循環器障害の一次予防 2） 循環器系障害による症状と病態生理 (1) 胸痛 (2) 動悸 (3) 呼吸困難 (4) 浮腫 (5) チアノーゼ (6) 失神 (7) 四肢の疼痛 (8) ショック 3） 循環器系疾患の病態生理と治療 (1) 虚血性疾患 (2) 心不全 (3) 血圧異常 (4) 不整脈 (5) 弁膜症 (6) 心膜炎 (7) 心筋疾患 (8) 先天性心疾患 (9) 動脈系疾患 (10) 静脈系疾患 (11) リンパ系疾患		3 呼吸器機能障害 （講義５回；45 分×10） 1） 呼吸器疾患と医療の動向 (1) 罹患率 (2) 呼吸器系疾患と感染症法 (3) 呼吸器系疾患とアスベスト 2） 呼吸器系障害による症状と病態生理 (1) 喀痰・血痰・喀血 (2) 咳 (3) 胸痛 (4) 呼吸困難 (5) チアノーゼ (6) ばち指 (7) 発熱 (8) 喘鳴 (9)呼吸異常 3） 呼吸器系疾患の病態生理と治療 (1)感染症 (2) 間質性肺疾患 (3)気道疾患 (4)肺血栓塞栓症 (5)呼吸不全 (6)呼吸調節に関する疾患 (7)肺腫瘍 (8)胸膜・縦隔・横隔膜の疾患	
	テスト（45 分）								
評価方法	筆記試験（血液・造血器：30%、循環機能：40%、呼吸器機能：30%）								
教科書	系統看護学講座―専門６ 成人看護学２ 呼吸器 医学書院 系統看護学講座―専門７ 成人看護学３ 循環器 医学書院 系統看護学講座―専門８ 成人看護学４ 血液・造血器 医学書院								
参考文献									
履修要件									

シラバス

科目名	病態学Ⅲ	単位	1	時間数	３０	開講時期	１年次後期	担当者	消化器内科医師 消化器外科医師 内分泌科医師
学習のねらい	栄養代謝を行う働きをもつ摂食・嚥下、消化吸収、排泄、代謝のそれぞれの正常な機能とメカニズムを理解し、その機能障害をもたらす疾患の病態、症状、検査、治療、機能障害の基礎知識を修得する。今後履修する消化器、内分泌・代謝に障害を持つ患者の看護を学ぶ上での基礎的知識を学習する。								
目的・目標	目的；各機能の特有な疾患について理解することができる。 目標；１．消化管の機能障害で特有な疾患の原因とその変化について理解する。 ２．肝臓・胆嚢・膵臓の機能障害で特有な疾患の原因とその変化について理解する。 ３．内分泌機能障害で特有な疾患の原因とその変化について理解する。								
授業計画	１．消化管の機能障害、肝臓・胆嚢・膵臓の機能障害（【内科】 （講義６回；45 分×12） １）胃・十二指腸の疾患 (1) 胃炎 (2) 胃・十二指腸潰瘍 (3) 胃癌 ２）腸および腹膜疾患 (1)潰瘍性大腸炎 (2)クローン病 ３）肝臓・胆のうの疾患 (1)急性肝炎 (2)肝硬変 ４）肝臓・胆のうの疾患 (1)門脈圧亢進症 (2)胆のう炎・胆管炎 ５）膵臓の疾患 (1)膵炎 ６）腸内寄生虫疾患 (1) 蠕虫による疾患 (2) 原虫による疾患		２．消化管の機能障害【外科】 （講義５回；45 分×10） １）食道の疾患 (1)食道癌 ２）胃・十二指腸の疾患 (1)胃・十二指腸潰瘍 (2)胃癌 ３）腸および腹膜疾患 (1) ヘルニア (2) イレウス ４）腸および腹膜疾患 (1)結腸癌・直腸癌 (2)痔 ５）膵臓疾患 (1) 膵癌		３．内分泌機能障害 （講義４回；45 分×8） １）糖尿病 視床下部－下垂体前葉系疾患 ２）甲状腺疾患 (1) 慢性甲状腺炎 (2) バセドウ病 (3) 甲状腺機能低下症 (4) 甲状腺腫瘍 ３）副甲状腺疾患 (1) 副甲状腺機能亢進症 (2) 副甲状腺機能低下症 ４）副腎疾患 (1) 原発性アルドステロン症 (2) クッシング症候群 褐色細胞腫				
	テスト（45 分）								
評価方法	筆記試験　消化吸収障害・肝臓・胆嚢・膵臓の機能障害（内科的）４０％ 消化吸収障害・肝臓・胆嚢・膵臓の機能障害（外科的）３０％ 内分泌障害３０％								
教科書	系統看護学講座―専門分野Ⅱ　成人看護学　５消化器　医学書院 系統看護学講座―専門分野Ⅱ　成人看護　６　内分泌・代謝　医学書院 系統看護学講座―専門分野Ⅱ　成人看護学 11　アレルギー　膠原病　感染症　医学書院								
参考文献	系統看護学講座―専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進　病理学　医学書院 系統看護学講座―別巻　臨床外科看護総論　医学書院 系統看護学講座―別巻　臨床外科看護各論　医学書院								
履修要件									

シラバス

<table>
<tr><td>科目名</td><td>病態学Ⅳ</td><td>単位</td><td>1</td><td>時間数</td><td>３０</td><td>開講時期</td><td>１年次後期</td><td>担当者</td><td>脳神経外科医師
神経内科医師
整形外科医師</td></tr>
<tr><td>学習のねらい</td><td colspan="9">脳・神経機能と感覚機能の正常な構造と機能を理解し、その機能障害をもたらす疾患の病態、症状、検査、治療、機能障害の基礎知識を修得する。今後履修する脳・神経機能に障害を持つ患者の看護を学ぶ上での基礎的知識を学ぶ。
運動機能の正常な構造と機能を理解し、その機能障害をもたらす疾患の病態、症状、検査、治療、機能障害の基礎知識を修得し今後履修する。今後履修する運動機能に障害を持つ患者の看護を学ぶ上での基礎的知識を学ぶ。</td></tr>
<tr><td>目的・目標</td><td colspan="9">目的；各機能の特有な疾患について理解することができる。
目標；１．脳機能の障害で特有な疾患の原因とその変化について理解する。
２．運動機能の障害で特有な疾患の原因とその変化について理解する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">授業計画</td><td colspan="3">脳神経系疾患の病態生理と診断・治療【脳神経】
（講義 5 回；45 分×10）
１．脳血管障害
① クモ膜下出血
② 高血圧性脳内出血
２．脳血管障害
③ 脳動静脈奇形
④ 脳梗塞
⑤ 一過性脳虚血発作
３．脳腫瘍
４．頭部外傷
５．水頭症</td><td colspan="3">脳神経系疾患の病態生理と診断・治療【神経内科】
（講義 5 回；45 分×10）
１．急性灰白髄炎
脊髄小脳変性症
ギランバレー症候群
２．重症筋無力症
進行性筋ジストロフィー
筋委縮性側策硬化症
３．多発性硬化症
パーキンソン病
パーキンソン症候群
４．脳炎
髄膜炎
５．てんかん
認知症
① アルツハイマー病
② 脳血管性認知症</td><td colspan="3">運動機能の障害の病態生理と診断・治療【整形外科】
（講義 5 回；45 分×10）
１．運動器の構造と機能、症状とその病態生理
２．疾患の特徴、注意すべき合併症、治療法
３．骨折（大腿骨頚部骨折、大腿骨転子部骨折）
脱臼
変形性関節症
４．関節リウマチ
悪性骨腫瘍
５．椎間板ヘルニア
脊髄損傷
末梢神経損傷</td></tr>
<tr><td colspan="9">テスト（45 分）</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="9">脳神経系疾患【脳神経】30％
脳神経系疾患【神経内科】30％
運動機能の障害【整形外科】40％</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="9">系統看護学講座―専門分野Ⅱ　成人看護学 7　脳・神経　医学書院
系統看護学講座―専門分野Ⅱ　成人看護学 10　運動器　医学書院
系統看護学講座―専門分野Ⅱ　成人看護学 11　アレルギー　膠原病　感染症　医学書院</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="9">系統看護学講座―専門基礎分野　疾病のなりたちと回復　病理学　第 15・16 章　医学書院</td></tr>
<tr><td>履修要件</td><td colspan="9"></td></tr>
</table>

シラバス

<table>
<tr><td>科目名</td><td>病態学Ⅴ</td><td>単位</td><td>1</td><td>時間数</td><td>３０</td><td>開講時期</td><td>１年次後期</td><td>担当者</td><td>腎臓内科医師
泌尿器科医師
婦人科医師
外科医師</td></tr>
<tr><td>学習のねらい</td><td colspan="9">腎機能・泌尿器・生殖器機能の正常な構造と機能を理解し、その機能障害をもたらす疾患の病態、症状、検査、治療、機能障害の基礎知識を修得し今後履修する。今後履修する腎機能・泌尿器・生殖器機能に障害を持つ患者の看護を学ぶ上での基礎的知識を学ぶ。</td></tr>
<tr><td>目的・目標</td><td colspan="9">目的；各機能の特有な疾患について理解することができる。
目標；
1. 排泄機能障害で特有な疾患の原因とその変化について説明することができる。
2. 生殖機能をつかさどる器官の障害で特有な疾患の原因とその変化について説明することができる。
3. 手術療法に必要な麻酔方法と、手術により生体の反応について説明することができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">授業計画</td><td colspan="2">腎機能障害の病態生理と診断・治療
（講義 5 回；45 分×10）
1　腎不全
2　透析療法
3　糸球体腎炎
ネフローゼ症候群
4　糖尿病と腎症
膠原病と腎症
5　間質性腎炎
腎硬化症
腎性尿崩症</td><td colspan="2">尿路・生殖器系障害の病態生理と診断・治療
（講義 3 回；45 分×6）
1　感染症(腎盂腎炎
膀胱炎、尿道炎、前立腺炎）
2　通過障害と機能障害
（水腎症、神経因性膀胱、前立腺肥大）
尿路結石症(腎結石
尿管結石・膀胱結石）
3　腫瘍（腎細胞癌・ウィルムス腫瘍・膀胱腫瘍
前立腺癌・精巣腫瘍）
勃起障害</td><td colspan="2">生殖器機能をつかさどる器官障害の病態生理と診断・治療【女性生殖器】
（講義 5 回；45 分×10）
1　性染色体異常
外陰の疾患
膣の疾患
2　子宮の疾患
（子宮下垂・子宮脱
子宮癌・子宮筋腫
子宮内膜症）
3　絨毛性疾患
卵管・卵巣の疾患、
骨盤内炎症性疾患
4　月経異常・月経随伴症状
更年期障害
不妊症
5　不育症
性感染症</td><td>生殖器機能をつかさどる器官障害の病態生理と診断・治療【乳腺】
（講義 2 回；45 分×4）
1　乳腺症、繊維腺腫
2　乳癌</td></tr>
<tr><td colspan="9">テスト（45 分）</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="9">筆記試験（腎機能 30%、尿路・生殖器系 25%、女性生殖機能 30%、乳腺 15%）</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="9">系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学８　腎・泌尿器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学９　女性生殖器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　アレルギー　膠原病　感染症</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="9">系統看護学講座　専門基礎分野　病理学　第 14 章　医学書院</td></tr>
<tr><td>履修要件</td><td colspan="9"></td></tr>
</table>

シラバス

<table>
<tr><td>科目名</td><td>病態学Ⅵ</td><td>単位</td><td>1</td><td>時間数</td><td>１５</td><td>開講時期</td><td>1年次後期</td><td>担当者</td><td>眼科医師
耳鼻咽喉科医師
皮膚科医師</td></tr>
<tr><td>学習のねらい</td><td colspan="9">感覚機能の正常な構造と機能を理解し、その機能が障害を起こす際の病態生理、臨床における検査や治療、機能障害の基礎知識を修得し今後履修する感覚機能に障害を持つ患者の看護を学ぶ上での基礎的知識を学ぶ。</td></tr>
<tr><td>目的・目標</td><td colspan="9">目的；各機能の特有な疾患について理解することができる。
目標；感覚機能障害で特有な疾患の原因とその変化について理解する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">授業計画</td><td colspan="3">１．視力機能障害における代表疾患の病態生理と診断・治療
（講義 2 回；45 分×4）
１）流行性角結膜炎
２）白内障
３）緑内障
４）網膜疾患
５）眼科の看護</td><td colspan="3">２．聴機能障害における代表疾患の病態生理と診断・治療
（講義 2 回；45 分×4）
１）中耳炎
２）メニエール病
３）難聴
４）顔面神経麻痺
５）アレルギー性鼻炎
６）副鼻腔炎
７）扁桃腺炎
８）上顎癌・咽頭癌・喉頭癌</td><td colspan="3">３．皮膚疾患における代表疾患の病態生理と診断・治療
（講義 3 回；45 分×6）
１）湿疹
２）アトピー性皮膚炎
３）蕁麻疹群
４）真菌感染症
５）ウイルス感染症
６）熱傷の分類と治療
７）内臓疾患に伴う皮膚病変
８）膠原病
９）褥瘡</td></tr>
<tr><td colspan="9">テスト（45 分）</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="9">筆記試験（視力機能３０％、聴機能障害３０％、皮膚疾患４０％）</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="9">系統看護学講座―専門分野Ⅱ　成人看護学 12　皮膚　医学書院
系統看護学講座―専門分野Ⅱ　成人看護学 13　眼　医学書院
系統看護学講座―専門分野Ⅱ　成人看護学 14　耳鼻咽喉　医学書院
系統看護学講座―専門分野Ⅱ　成人看護学 11　アレルギー　膠原病　感染症　医学書院</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td>履修要件</td><td colspan="9"></td></tr>
</table>

シラバス

科目名	診断学	単位	1	時間数	１５	開講時期	2年時前期	担当者	医師 放射線科医師 臨床検査技師
学習のねらい	高齢化とともに疾患の構造が複雑化・多様化してきている。また、研究開発とともに今まで回復が望めなかった疾患まで、治療方法が進展し、延命が可能な時代となった。医療機器の発達によっても、侵襲が少なく短時間での検査が可能となり、診断・治療が進めやすくなっている。そのため、看護においても患者の状態を的確に判断し、対応できる技術が求められてきている。最も、患者の身近にいて、診断から治療が患者にとって安楽で安全に進められるようかかわれることも看護の大切な役割である。また、医師の診断・治療が円滑に進められるよう、その意図を理解し、患者とともにより主体的に診療に介入できるように基礎的知識を学ぶ。								
目的・目標	目的；検査は何のために行われ、またどのような方法で実施されているか等、検査内容と疾患とのつながりを臓器別に理解すること、臨床検査の基礎知識を習得する。 目標；疾病の回復を促進するための診断、治療、検査としての放射線及び臨床検査の原理について学ぶ。								
授業計画	１．診断の進め方 （講義1回；45分） 1)診断の進め方の基本 2)診断の進め方の実際	２．検査の進め方 （講義4回；45分×8） 1)臨床検査についての基礎 臨床検査の流れと看護師の役割 2)主な臨床検査 一般検査と血液学的検査 生化学検査と免疫・血清検査 3)主な臨床検査 内分泌学的検査 微生物学的検査 4)主な臨床検査 生体検査 病理学的検査	３．診断の進め方（2回） （講義2回；45分×4） 1)画像診断の意義と目的 造影検査の種類と原理、Ｘ線ＣＴ 検査の種類と原理、超音波検査法の種類と原理 2)画像診断の意義と目的 磁気共ＣＴ検査の種類と原理 核医学検査の原理と種類、核医学治療						
	テスト（45分）								
評価方法	筆記試験 評価の配分　診断の進め方10%　検査の進め方50%　画像診断40%								
教科書	新体系看護学３－病態と診療の基礎　　メヂカルフレンド社 系統看護学講座　別巻　-臨床検査　医学書院								
参考文献									
履修要件									

シラバス

科目名	薬理学	単位	1	時間数	３０	開講時期	１年次前期	担当者	薬剤師
学習のねらい	患者に接する時間や機会が多い看護師は、薬物の作用や副作用、投与の際の注意点など十分に理解しておくことが必要である。解剖生理学や病態学と同様に薬理学の知識も学習し、安全な看護の提供の基盤としていく。								
目的・目標	目的；安全な看護の提供のため、薬物の基礎知識を理解することができる。 目的；薬理作用の基礎知識に基づき、主な薬物の特徴、作用機序、人体への影響及び薬物の管理について説明することができる。								
授業計画	１回（45 分×2）．薬物とはどのようなものか ２回（45 分×2）．生体の機能と薬の作用・体内動態 ３回（45 分×2）．薬効に影響を及ぼす要因 ４回（45 分×2）．薬の有害作用と適応法 ５回（45 分×2）．抗感染症薬 ６回（45 分×2）．消毒薬、免疫治療薬 ７回（45 分×2）．アレルギー及び炎症に対する薬物 中間テスト ８回（45 分×2）．末梢での神経活動に作用する薬物 ９回（45 分×2）．中枢神経系に作用する薬物 10 回（45 分×2）．心臓・血管系に作用する薬物 11 回（45 分×2）．呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 12 回（45 分×2）．物質代謝に作用する薬物 13 回（45 分×2）．抗癌薬、外用薬 14 回（45 分×2）．救急時に使用される薬物、漢方薬、検査薬・診断薬 15 回（45 分×2）．薬事法規 最終テスト								
評価方法	筆記試験；中間テスト（50%）、最終テスト（50%）								
教科書	系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　アレルギー　膠原病　感染症								
参考文献	系統看護学講座　専門基礎分野　看護関係法令　医学書院								
履修要件									

シラバス

科目名	病態治療学演習	単位	2	時間数	３０	開講時期	２年次前期	担当者	教員
学習のねらい	薬物治療では、生理的機能の低下に対しては促進を、逆に機能亢進に対しては抑制を促がす働きをする薬を病気の治療に役立てている。人間の調節機能の一部にはたらいた薬物の影響は、その一部だけにとどまるとは考えられず、体内の他の機能へ影響を与えている可能性があり、これが薬の副作用と定義できる。学生は、とかく薬物療法をうけている患者の副作用の観察ばかりにとらわれがちだが、体内での生体機能とその回復のための手段として薬物療法を捉えて学習を行ってほしい。								
目的・目標	目的；薬物療法と生体機能を関連されて理解することを通して、看護過程のアセスメント能力を養うことができる。 目標；人間の生体機能を理解し、病態と薬物の効用について関連付けることができる。								
授業計画	1回（45分×2）　オリエンテーション　事例①「本態性高血圧症と降圧剤」 2回（45分×2）　血圧調整のメカニズム①　事例②「心不全と利尿薬・血管拡張薬・強心薬」 3回（45分×2）　血圧調整のメカニズム② 4回（45分×2）　本態性高血圧症のメカニズム① 5回（45分×2）　本態性高血圧症のメカニズム② 6回（45分×2）　Aさんの関連図作成（個人ワーク） 7回（45分×2）　Aさんの関連図作成（グループワーク） 8回（45分×2）　グループ発表 9回（45分×2）　循環機能のメカニズム① 10回（45分×2）　循環機能のメカニズム② 11回（45分×2）　心不全のメカニズム① 12回（45分×2）　心不全のメカニズム② 13回（45分×2）　Aさんの関連図作成（個人ワーク） 14回（45分×2）　Aさんの関連図作成（グループワーク） 15回（45分×2）　グループ発表　まとめ								
評価方法	個人ワークの状況（50%） グループワークの参加状況・発表（20%） 課題提出状況、内容（20%） 授業の出席、参加度（10%）　以上を総合して評価する。								
教科書	系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学　医学書院 系統看護学講座　専門基礎分野　解剖生理学　医学書院 系統看護学講座　専門基礎分野　病理学　医学書院 系統看護学講座　専門基礎分野　微生物学　医学書院								
参考文献									
履修要件	解剖生理学、薬理学を履修済み								